



園だより ～きづき～

キ3園 第108号

2026年3月号

キッドワールドサード保育園

園長 是永 妃富

暖かくなり、戸外遊びの時間も長くなりました。お友達と走ったり同じ場所で遊んだり、関わりが広がります。笑顔で見つめあう姿に春の穏やかな空気とともに心の成長も感じられます。

さて、今年度最後の園だよりになりました。早いもので今年度も1カ月足らずに終了になります。今月は発表会ごっこ・修了式を行います。子ども達の大きくなった姿を見ていただきたいと思います。

少し早いのですが、一年間お世話になりました。かわいい子ども達に出会えて過ごせたことに感謝いたします。ご協力ありがとうございました。新年度もよろしくお願いいたします。



- 3日 (火) ひな祭り
- 10日 (火) 身体計測
- 14日 (土) 発表会ごっこ・修了式
- 25日 (水) 避難訓練
- 26日 (木) 健康診断

お弁当日は 3月21日(土)です

お弁当と食具を持たせてください。



サード保育園 全員集合 大きくなりました

お知らせ・お願い

- ・前日や、休日に体調が悪かった場合お知らせください。
- また、連絡先が変更になった場合も教えて頂けると助かります。
- ・3月14日(土)は、発表会ごっこ、修了式を行います。よろしくお願い致します。
- わからないことがあれば、職員にお尋ねください。
- ・2歳児さんは、サード保育園での預かりは3月31日までとなります。
- ・新年度に向けて提出書類等があります。その都度お知らせしますのでご協力ください。
- ・担任も変わります。掲示にてお知らせします。

2月の子どもの姿



・寒さが加わり体調を崩すお子さんが多くみられました。室内にいる時間が長くなっていましたが、日差しを見つけては、外へ出て遊びました。

4月からそれぞれ進級します。振り返ると嫌いな野菜も少しずつ食べられるようになり、おもちゃの貸し借りも上手になって来ました。2歳児さんは、こども園へ行ってたくさんのお友達と遊んでほしいと願っています。素敵な笑顔をありがとう。

子どもが望む大人の世界④ ～17の子どもの願い～

牧野 桂一先生



子育てについて書いてくれています。お読みください

①一人一人の違いに応じた対応をする

前回までに発行の都合で紹介しきれなかった「①一人一人の違いに応じた対応をする」の項目以下の内容について、今回も順次紹介していきたいと思います。

最初は、①番目になる「一人一人の違いに応じた対応をする」から始めていきたいと思います。

子どもを取り巻く現在の環境の中で、私たちは多忙化という大きな時代の渦の中で、日常生活の中に精神的なゆとりを失ってしまい、ゆっくりと子どもたちと向き合い見つめ合い丁寧に関わっていくことがとても難しくなっています。その結果、私たちは知らず知らずのうちに、本来もっている一人一人の子どもの違いを忘れてしまい、子どもたちを画一的に一括りにして同一視する傾向がでてきています。

そのよう変化の中で、私たち大人が心がけていかなければいけないことは「一人ひとりの子どもたちを本当に大切にすること」です。そのためには、子どもたちは、本来、一人一人違うということをしっかりと胸に刻み、一人一人の違いに優劣をつけず、まず子どもの全てを受け入れていくことが大切になります。そして、どの子ども心豊かに育っていくためには、子どもたちが今何を感じているのか、どのような経験が必要なのかということを広く受け止め続けていかなければならないのです。

兄弟姉妹であっても、一人ひとりの子どもはそれぞれ違った考えや感情を持っています。したがって、家庭生活の中では、本来子どもたち一人一人のもっている違いをよく理解し、それにじた対応を行っていくために、まず一人一人の子どもの本当の気持ちを受け止め、興味や関心、個性を尊重しながら、それぞれの発達段階に応じた対応と働きかけを愛情深く行うようにしていきます。そして、個々の子どもが安心して生活できる環境を整え、個性や特性に応じた関わりを心がけるようにします。次に、子どもたちのありのままの姿に関心を持ち、子どものもつ力を信頼するように努めます。

兄弟姉妹一人ひとりの違いを大切にすることは、それぞれ子どもたちが自分らしく生き、互いを尊重し合う社会を育む上でも大切になります。それぞれの子どもの個性や強み・弱みを認め合うことで、家族の絆がいつそう深まり、より豊かな人間関係を築いていくことができるようになるのです。

幼児期というのは、人の生涯の中でも発育と発達に最も個人差が出てくる時期です。ですから、家庭環境や生活経験によって生育や発達の状態もそれぞれ異なってきます。そのために家族であっても、兄弟姉妹であってもそれぞれが異った考えや思い、感情を持つようになることをコミュニケーションを通じて理解すること大切になります。このような中で、一人一人の子どもの違いに対応していくためには、それぞれ子どもの好きなことや得意なことを見出し、自己表現できる環境をつくり、それぞれの個性を尊重していくことが重要になります。また、「男の子だから」「女の子だから」「お兄ちゃんだから」「お姉ちゃんだから」「もう5歳になったのだから」「〇〇だから」といった子どもに対する固定観念を捨て、「みんな違ってみんないい」「ばらばらで一緒」という多様な価値観をもって人としてのあり方を考えることも大切になります。意見が異なる場合でも、「なぜそう考えるのか」ということに関心を持つことで人はそれぞれ違うという新たな発見を経験し、それぞれの違いを認識した上でお互いを

大切にしていけることの意味を学んでいくことができるのです。

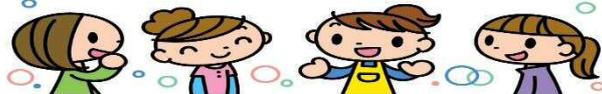
これまでのこと考えてきたことを整理して「一人一人の違いに応じた接し方」を考えると、それぞれ子どもの個性や特性をよく理解し、自己肯定感を育むことが大切なるということがわかります。人それぞれ成長のペースや得意なことは異なります。他の子どもや兄弟姉妹と比べるのではなく、その子の良い点を見つけて認め、励ましていくことが重要なのです。そのためには、「結果だけを比べるのではなく、努力の過程を認めること」「他の子と違うことを不安に感じている場合は、その違いが強みになることを伝えること」「欠点も弱点含めて、子どものありのままの姿を受け止めること」「一人の人間として尊く向き合うこと」ことを丁寧に行っていくことが大切になります。

一方で、子どもを他の子と比べると、子どもの自己肯定感を低下させる可能性があります。それぞれの家庭を、子どもが安心してありのままを受け入れられる場所にするのが大切になるのです。

今回もまた、紙面の都合で紹介しようと思っていた項目を全て紹介することはできませんでしたので、次回には、⑫子どものしていることに驚きを持つ ⑬あるがままの姿を受け入れる ⑭明るくてほほ笑みの多い保護者になる ⑮ユーモアに富んだ保護者になる ⑯子どもの名前をいっぱい呼んであげる ⑰人として美しい親になるなどについて紹介していきたいと思います。



生まれてきてくれてありがとうございますの思いを感じましょう。そして向き合っ大切に育てる..素敵な言葉だと思います。子育てファイトです。牧野先生ありがとうございます。



2/3は節分でした。節分の話聞き自分たちで作ったお面をかぶり、箱の鬼退治です。「怖くないよ～」と言いながら、投げました！！

